



足の裏などをおすと、白くなるのはなぜ

皮膚の下に血管があるため

足の裏だけでなく、そのほかの体のどの部分をおしても、きっと白くなるはずですよ。

それは、体のすみずみまで、どんなところにも、皮膚の下には血管があるからで、それで、おすと、その血管を流れている血液を止めることになるため、白くなるのです。

しかし、おさえるのをやめると、また血液がすぐに流れはじめますから、また、元の色にもどります。でも、あまり強く、長い間おさえているのはやめましょう。

血液は、酸素や栄養を運ぶ役目をしている

人間の体は、約60兆ほどの、小さな小さな細胞が集まってできており、その細胞が活動するのに必要な酸素や栄養を、体のすみずみにまで運ぶ役目をしているのが血液です。

また、血液は、体内でつくられた熱で温められ、体表近くまで血管で運ばれて、体を温めたり、皮膚から、体内の熱をにがしたりするはたらきをしています。

そのため、血液を流すための血管は、体のすみずみにまであみの目のように、はりめぐらされているのです。（監修・保志 宏）

